

## 立憲民主党大阪府連合 大阪北部地震対策 現地報告

衆議院議員 尾辻かな子  
衆議院議員 長尾 秀樹  
8区総支部長 松井博史

立憲民主党大阪府連として 18 日に対策本部を立ち上げ、6月 19 日長尾秀樹衆議院議員、松井 8 区総支部長、地元自治体議員と連携し、被災地の現場でお話を伺った。

**高槻市** 高槻市長 濱田剛史氏、総務部長 中川洋子氏、危機管理室長 松永正明氏

(尾辻かな子衆議院議員、中浜みのる高槻市議、森本信之市議)



高槻市立寿栄小学校前



濱田市長から、ブロック塀により女児がお亡くなりになった件についての謝罪があった。

校舎などの耐震化は進めていたが、ブロック塀については、対象としていなかった。国に対しては、昭和 40 年代に建築された教育施設の老朽化、耐震化対策について、水道管の老朽化、耐震化対策について防災の観点で財源を確保、補助制度を作つてほしいという要望を受けた。

水道水については、19 日の時点で一部地域を除き、濁りが若干あるものの復旧。20 日朝に安全宣言が出される。高槻市の水道は 70% が府広域水道企業団、30% が自己水。今回の断水は、府の企業団の水道管の破損が原因となった。

(NHK ニュースサイトより この 3 か所の水道管は、大阪市をのぞく府内全域に供給している大阪広域水道企業団が 50 年以上前に設置したもので、法律で定められた耐用年数の 40 年を超えた、耐震化されていない水道管だったということです。企業団によりますと、これまで大阪府内で耐震化が終わった水道管は全体の 31.3% にとどまっています。)

ガスについては、45,745 戸が供給停止。復旧見込みは 10 日程度。(本日の大阪府の対策本部で 25 日をめどに復旧と報告あり)

壊れた屋根対策として、ブルーシートを約 1000 枚配布。

ボランティアは 20 日から受け付ける。家の片づけができていない家庭が多くある。

気象庁も降雨に対して、警報の基準を下げて対応予定。土砂災害に注意が必要となっている。

**茨木市** 危機管理監 西川恵三氏、稲葉通宣 (尾辻かな子衆議院議員、茨木市議会議員)



神社の壇が倒壊している



市議会の控室



避難所となった施設の職員から聞き取り 日中は避難者は家の片づけに。

茨木市はガスが 11 万世帯中、6 万 5 千世帯が供給停止となっている。(被災自治体で最大) ガスの復旧が一番の課題。

ブルーシートの配布。

二次被害の防止にあたっている。今後は家屋調査、罹災証明発行業務を行う。

茨木市においては、阪神淡路大震災より震度が大きいものであった。有馬高槻断層の地震発生確率は 30 年以内に、ほぼ 0 % ~ 0.03 % であった。(地震調査研究推進本部)

**大阪府** 危機管理室消防保安課長 前野祐一氏、災害対策課 課長補佐 石川昌義氏

(長尾衆議院議員、村上賀厚 1 区総支部長)



大阪府災害対策本部の資料を元に、対応について説明聴取。

二次被害の拡大防止、高槻市のブロック壇の被害を受け、教育委員会において各学校に危険性について点検調査を行う指示をしている。

ライフラインはガスがストップしているため、20 日から自衛隊が入浴支援に入る予定

豊中市 松井博史・大阪8区総支部長が豊中市議会災害対策支援本部会議の資料をもとに友好議員より

説明を受ける（18日・19日の両日計3回）。

第3回会議資料より

○被害状況 人的被害・負傷者 31名（軽度・中程度） 物的被害・建物被害 7件・ライフライン 電気 9万世帯停電（9時10分には復旧） ガス 供給中 上下水道 異常なし・公共交通機関 北大阪急行・モノレールは 運休中 主要道路の一部が通行止め・市立病院 入院患者に異常なし

○今後の対応・公共施設の現状確認及び耐震調査・被災証明・震災ゴミの処理 ※今後も随時情報収集に取り組んでいく。

（以下の写真は 6/18 大阪府連災害対策本部会議）



**大阪市** 危機管理室長 大坂昭一氏、危機管理課長 間嶋淳氏

(長尾衆議院議員、村上賀厚大阪1区総支部長)



大阪市災害対策本部の資料をもとに、被害状況・対応状況について説明聴取。

避難所開設状況（自主避難）は、最大 119 か所だったが、11：00 現在で 3 区 4 か所で 24 名。

東淀川区で、民家の壁崩落により 80 歳男性 1 名が死亡。（警察情報）

水道は被害軽微、ガス・電気は復旧済み。

要支援者について、自主防災組織や民生委員等を通じて安否確認中だが、今後一人暮らしの方についても行う。

**枚方市** 危機管理室主幹（危機管理官） 中村義富美氏、(長尾秀樹衆議院議員)



枚方市災害対策本部資料にもとづき、被害状況・対応状況の説明聴取。

死者なし、負傷者 22 名。物的被害 419 件（通報、対応済み 150 件）

避難所避難者数は 29 か所、146 名。避難指示・避難勧告 13 世帯。（土砂災害）

18 日に、7 か所の給水拠点で 1390 人に給水を実施。（復旧により終了、濁り等はまだある）